

令和 **8** 年度 年間授業計画 教科 **科学技術科** 科目 **特講**

教科: **科学技術科** 科目: **特講** 単位数: **1** 単位

対象学年組: 第 **3** 学年

教科担当者:	IT領域	西岡							
使用教科書:	自校作成プリント								

教科 **科学技術科** の目標:

【知識及び技能】	対象とする事象を解決するために必要な知識及び技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】	多角的、複合的に事象を捉えながら、科学技術に関する課題を探究し、表現する力を獲得している。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦したり、過程を振り返って評価・改善したりしている。

科目 **特講** の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各領域の講座を通して、科学技術に関する知識を身につけるとともに、課題を解決するための技能を身につけている。	各領域の講座内容を踏まえ、多角的、複合的に捉えながら探究し、その過程を理解し、表現することができる。	各領域の講座内容に対し、過程を振り返って評価・改善をし、科学技術者としての基礎を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 ① 情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解する。	情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザインについて学ぶ。	情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	1
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	ClassNotebook等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 2 ② 情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解する。	情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザインについて学ぶ。	情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	2
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	ClassNotebook等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
1 学期	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説					
単元 3 ③ 情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザイン	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解する。	情報社会と問題解決、コミュニケーションと情報デザインについて学ぶ。	情報社会と問題解決、メディアとコミュニケーション、情報とデジタル化、情報デザインを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	ClassNotebook等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 4 ④ コンピュータとプログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。	コンピュータとプログラミングについて学ぶ。	コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	プログラミング等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						1

令和 8 年度 年間授業計画 教科 科学技術科 科目 特講

教科: 科学技術科 科目: 特講 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	IT領域 西岡
使用教科書:	自校作成プリント

教科 科学技術科 の目標:

【知識及び技能】	対象とする事象を解決するために必要な知識及び技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】	多角的、複合的に事象を捉えながら、科学技術に関する課題を探究し、表現する力を獲得している。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦したり、過程を振り返って評価・改善したりしている。

科目 特講 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各領域の講座を通して、科学技術に関する知識を身につけるとともに、課題を解決するための技能を身につけている。	各領域の講座内容を踏まえ、多角的、複合的に捉えながら探究し、その過程を理解し、表現することができる。	各領域の講座内容に対し、過程を振り返って評価・改善をし、科学技術者としての基礎を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 【1】コンピュータとプログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。	コンピュータとプログラミングについて学ぶ。	コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	3
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	プログラミング等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 6 【1】コンピュータとプログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。	コンピュータとプログラミングについて学ぶ。	コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	3
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	プログラミング等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
2 定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						
単元 7 【1】コンピュータとプログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。	コンピュータとプログラミングについて学ぶ。	コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	2
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	プログラミング等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元 8 【1】コンピュータとプログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。	コンピュータとプログラミングについて学ぶ。	コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	3
授業内容を理解し、質問等発言することができる。	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	プログラミング等	授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
2 定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						1

令和 8 年度 年間授業計画 教科 科学技術科 科目 特講

教科: 科学技術科 科目: 特講 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	IT領域	西岡							
使用教科書:	自校作成プリント								

教科 科学技術科 の目標:

【知識及び技能】	対象とする事象を解決するために必要な知識及び技能を身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】	多角的、複合的に事象を捉えながら、科学技術に関する課題を探究し、表現する力を獲得している。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦したり、過程を振り返って評価・改善したりしている。

科目 特講 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各領域の講座を通して、科学技術に関する知識を身につけるとともに、課題を解決するための技能を身につけている。	各領域の講座内容を踏まえ、多角的、複合的に捉えながら探究し、その過程を理解し、表現することができる。	各領域の講座内容に対し、過程を振り返って評価・改善をし、科学技術者としての基礎を育成する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 【1】コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 授業内容を理解し、質問等発言する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				3
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。	○	○	○	
	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	【学びに向かう力、人間性等】 授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	一人1台端末の活用（場面） プログラミング等					
単元 10 【1】コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解する。 【思考力、判断力、表現力】 授業内容を理解し、質問等発言する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 コンピュータのしくみ、アルゴリズムとプログラム、モデル化とシミュレーションを理解したか。				1
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。	○	○	○	
	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	【学びに向かう力、人間性等】 授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	一人1台端末の活用（場面） プログラミング等					
単元 11 【1】情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみ、情報システムとデータベース、データの活用を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 授業内容を理解し、質問等発言する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみ、情報システムとデータベース、データの活用を理解したか。				3
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。	○	○	○	
	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	【学びに向かう力、人間性等】 授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	一人1台端末の活用（場面） ClassNotebook等					
単元 12 【1】情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみ、情報システムとデータベース、データの活用を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 授業内容を理解し、質問等発言する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に向き合い、課題の解決に向けて積極的に挑戦している。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみ、情報システムとデータベース、データの活用を理解したか。				3
	・教材	【思考力・判断力・表現力】 授業中の取り組み態度、参加の姿勢を観点評価する。	○	○	○	
	指導書・ワークシート（自校作成プリント）等	【学びに向かう力、人間性等】 授業での発言、質問など主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	一人1台端末の活用（場面） ClassNotebook等					
定期考査（学年末考査）/返却と解説						1

3 学期